

しんねん
新年



し
聖書
テーマ
あ
暗唱聖句

詩篇121・1～8

私の助けはどこから

私の助けは どこから来るのか。

私の助けは【主】から来る。

天地を造られたお方から。

詩篇121・1～2

し
目標

助けと守りが神から来ることを
覚えつつ、一年の歩みを始める。

1月1日(日)

し
聖書
せ
聖句

詩篇121・1～2

私の助けは どこから来るのか。

私の助けは【主】から来る。

天地を造られたお方から。 1～2節

あけましておめでとう！ 新しい一年がは
じまったね！ 今年はどうなことがおきるか
な？ うれしいことや楽しいことだけでなく、
悲しいことやしっばいもあるかもしれないね。

人生は旅に似ていて、なにが起きるかわから
ないよね。でも、そういう人生の旅の中で、心
も体も成長するし、したいよね！ その成長
を助けて！ と神様が願ってくださるよ。

あなたを愛し、見守り、いつも助けてくださ
る神様に心を向けて、いっぱい歩い
ていけるあなたでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、この新しい一年も、いっ
ぱい歩、あなたに心を向け、歩いて
いきます！

1月2日(月)

し
聖書
せ
聖句

詩篇121・3

主は あなたの足をよろけさせず

あなたを守る方は まどろむことも
ない。 3節

長く歩いたり走ったりして、足がガクガクし
たり、ヨロっとしたことはないかな？

人は弱いので、すぐに体も心もつかれ、よ
わり、よろけ、くじけてしまうのです。自分ひ
とりの力では自分をはげますことも、罪から
自分を守ることもできないのです。

だから、なによりも力強い神様の手と言葉
で、よろめいて心や体に傷をおってしまわな
いように、守ってもらわないといけないうんだね。

神様が、あなたをよろけさせず、あなたを
しっかりと立たせていてくださるお方です。

いの
祈り

天のお父様、わたしの心と体をいつも
守り、立たせていてください。

1月3日(火)

し
聖書
せ
聖句

詩篇121・4

見よ イスラエルを守る方は／まど
ろむこともなく 眠ることもない。

4節

あなたが病気やけがのとき、おうちの人が
夜中も看病してくれたこと、あるかな？ それ
でも、コクッと眠ったりするでしょう？

神様は、どうだろう？ そう、コクッと眠る
ことさえなく、見ておられるというのです！

だから、神様があなたのことで知らないこ
とも、見ていないことも、関係ないことも、何ひ
とつないのです。何ひとつ！

もし、どのようなときも、あなたが神様の
言葉をたいせつにし、神様にたよっているなら、
すべてのことは神様が責任をとってくださる、
それってすごいことだよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしのすべてを知って
いてくださるあなたに信頼します。

1月4日（水）



詩篇121・5

【主】はあなたの右手をおおう陰。
5節

「右の手」と言えば、右利きの人は多いよね。
あと、「右に出る者はいない」「彼はわたしの右腕です」という言葉、聞いたことあるかな？

そう、「右の手」というのは「力」「能力」のこと！ あなたはどんなことが得意かなあ？

それぞれ、色んなことができると思うけれど、たいせつなのは神様がその「陰」だということ。

知恵や力、能力の与え主、神様のことをわすれて自分勝手に使うのではなく、神様に感謝しながらだれかのために用いてみよう！ また、なにか特別なことをするときも、「神様が力を増しくわえてください」と祈っていこう！

いのちの祈り

天のお父様、あなたこそ、わたしの右の手をおおう陰です。だれかのために用いてください。強くしてください。

1月5日（木）



詩篇121・6

昼も 日があなたを打つことはなく
夜も 月があなたを打つことはない。
6節

イスラエルの人が、エジプトを脱出して荒野を旅していたとき、神様は、「昼は雲の柱」「夜は火の柱」となり、旅をみちびかれました。ひどい暑さや寒さで倒れないためです。

また、日や月は、外国の神々とも考えられていました。イスラエルの人が、礼拝のため神殿に向かって旅するとき、この詩を歌いながら「ああ、あそこにこそわたしが礼拝すべき神様がおられる」と歩いたでしょうね。

日本もたくさんの宗教がある国だけど、そういうものに流されず、撃たれず、神様のおられるところにだけ心をささげたいよね！

いのちの祈り

天のお父様、わたしが撃たれることのないよう、お守りください。

1月6日（金）



詩篇121・7

【主】はすべてのわざわいからあなたを守り／あなたのたましいを守られる。
7節

「災い」と聞くとどんなことを思いうかべますか？地震など自然のこと？けがや病気など健康のこと？友だちや家族など人のこと？考えてみればほんとにいやなことばかりだね。

でも、いちばんの災いは、人の心が罪を持ったまま死に向かうことじゃないかな。

たとえ死んでも、神様のところにはいけないとしたら、そんな悲しいことはありません。

だから、わたしたちは「すべての人が天国に行けない災いを免れて、救われますように」と祈っていくんだね。

いのちの祈り

天のお父様、生きているあいだに起きる災いだけでなく、天国に行けないという災いから守ってください。

1月7日（土）



詩篇121・8

【主】はあなたを 行くにも帰るにも
今よりとこしえまでも守られる。8節

「出入り」というのは、たんに行ったり来たりすることではなく、「なにかに關わる」ということです。いつも人はなにかやだれかに關わらずには生きていけませんね。それが今だけでなく、死ぬまでずっと続いていくのです。

神様は、日曜日だけの神様ではありません。24時間365日、あなたの人生にずっとずっと關わりたいと願う愛の神様です。

あなたがなにをしても、していなくても、神様があなたを見守ってくださる。どこを探してもこんな神様はほかにはいませんね。

あなたも本気で、神様に關わってください！

いのちの祈り

天のお父様、こんなに愛し關わってくださるあなたに、わたしも關わります。



聖書
テーマ
暗唱聖句

Ⅱコリント 5・13～19

キリストによる新創造

だれでもキリストのうちに
あるなら、その人は新しく造られた
者です。

Ⅱコリント 5・17

キリストにあって新しく造ら
れた者として生きる。

目標

1月8日(日)

聖書
聖句

Ⅱコリント 5・13～19

だれでもキリストのうちに
あるなら、その人は新しく造られた者です。

17節

今年2回目の日曜日です。もう一度、「明けましておめでとうございます」。新しい年、新しい帽子、新しいセーター、新しい手袋に新しい靴、新しいマフラーと、何もかも新しいものを身につけると、新しい「ワタシ」になるのかな？ では肝心の『新しい心』にはどうしたらなるの？ それは買うことはできません！ これまでの平気で罪を犯してきた心をおわびして、私の罪の代わりに十字架で死んでくださったイエス様を心にお迎えすると、新しい私の誕生です！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様だけが、心を造り変えてくださり、罪を犯したくない新しい者にしてくださることを感謝します。

1月9日(月)

聖書
聖句

エペソ 2・1～6

キリスト・イエスにあって、私たちが
をともによみがえらせ、ともに天上
に座らせてくださいました。

6節

したいと思う良いことができない、したくないと思う悪いことをしてしまう、これは心が罪によって死んでいるからなのですね。あわれみ深い神様は、大きな愛をもって、ひとり子イエス様を与えてくださいました。私たちが罪をおわびすると罪をゆるしてくださって、罪から救ってくださり、イエス様と共に生きる心と力をくださいます。今、よみがえって天におられるイエス様と同じように、私の心もよみがえらせて、天にいるような心で生きていけるのです。

いのちの祈り

天のお父様、罪と欲の思いの中で死んでいた私さえも、イエス様を信じて救われ、きよく生きられることを信じます。

1月10日(火)

聖書
聖句

エペソ 2・7～10

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。

10節

作品を作るのが大好きな人がいるでしょう？ 上手に作れる人と……うーんむずかしい、という人がいます。「実は、私たちひとりひとは神の作品ですよ」とパウロが言うのです。神様が私を「神の作品」として造ってくださったなんて！「へえ、私って、神様の作品なんだ」と考えてみてください。そうです。良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られた最高傑作なのです。イエス様を信じてはじめて良い行いができるのです。

いのちの祈り

天のお父様、私も、良い行いをするようにイエス様にあって造られた、最高傑作と知ってうれしくなります。

1月11日(水)

聖書
聖句

エペソ 4・17～24

真理に基づき義と聖をもって、神にかたどり造られた新しい人を着ることでした。 24節

水遊びや雪遊びでぬれてしまった服とか、ころんで汚れてしまった服とかは、すぐに脱いで、きれいな服に着替えますよね。実は、心も着替えがいます。むなしい心とか、硬い心とか、がんこな心とか、欲深い心とか、こういう心をもつ人を「古い人」と言うのです。その古い人を「えいっ!」と脱ぎ捨てます。イエス様の十字架を仰いでね。そして、「イエス様の心」を「私の心」として生きる決心をします。それが、「新しい人」を着ることなのです。

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうに心の底から、きよく新しく造りかえてくださるのは、イエス様だけだとわかりました。

1月12日(木)

聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

いつも喜んでいなさい。 16節

仮装行列って楽しいですね。ナースの服を着たり、ウエイトレスの姿になったりすると、何となく、その気になってしまいます。でもそれは外側だけです。イエス様のみわざは心の内側からなのです。神様のかたち、もう一度新しく造られた人、「新しい人」の姿を見ましょう。それは「キリスト・イエスにあって」のみでできることなのです。その人は、いつも喜んでいて人です。い・つ・も・ですよ! どんな時でもです。そんな人があなたのまわりにいるかな? あなたにも、そうなってほしいです。

いのちの祈り 天のお父様、いつも喜んでいてということ一つだけ考えても、その人は本当に「新しい人」としか言いようがありません。

1月13日(金)

聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

絶えず祈りなさい。 17節

新しい人とは、「いつもお祈りをしている人」、「やめることなくお祈りをしている人」だ、ということです。お祈りは、「神様、私にはどうしていいかわかりません。教えてください。私には何の力もありません。どうぞ力を与えてください。助けてください」という心のあらわれです。古い人は、何でも自分の思うまま勝手にやって、罪ばかり犯してきました。新しい人はいつも何でもお祈りをして、神様の心になるようにしていく人です。

いのちの祈り 天のお父様、あなたに喜ばれ、あなたの心が行われるために、もっともっとお祈りする者になりたいです。

1月14日(土)

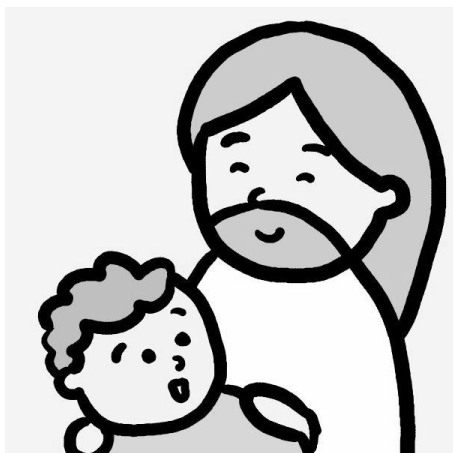
聖書
聖句

I テサロニケ 5・16～18

すべてのことにおいて感謝しなさい。 18節

カニがぶつぶつ泡を吹くように、よくぶつぶつ不平を言ったり、文句ばかり言う子どもはいませんか? 自分もいやになるし、まわりの人もいい迷惑なのです。それは古い人の姿。しかし、新しい人とは、「すべての事について、感謝」する人なのです。す・べ・て・の・ことですよ! 「えーっ!? そんなこと、本当にできるのかな?」と思いますか? 神様はいつも私のために絶対に良いことだけをしてくださると信じていればできます。そして、人に対しても心から感謝できるようになるのです。

いのちの祈り 天のお父様、「ありがとう!」の一言が、いつも新しい人の心からあふれてくる言葉なのだとわかりました。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I ヨハネ 5・1～5

神の子として

イエスがキリストであると信じる者はみな、神から生まれたのです。

I ヨハネ 5・1

信仰により神の子とされたことを自覚して生きる

目標

1月15日（日）

聖書
聖句

I ヨハネ 5・1

イエスがキリストであると信じる者はみな、神から生まれたのです。
1節

人はみんな、お母さんのおなかで育ち、おぎゃあ！と生まれるよね？でもそういう誕生でなく、イエス様はもう一度、生まれな

いといけないって教えていたよね！それは体の誕生でなく、霊の生まれ変わりのこと。イエス様の十字架がわたしの罪のためだと心から信じ、イエス様を救い主ですと信じた瞬間、霊が生まれ変わるんだね！それだけでなく、神様から生まれたその人はもう神様のたいせつな子どもだというお約束だよ！

あなたはイエス様を信じて、神様の子どもになりましたか？

祈り

天のお父様、イエス様によってあなたの子どもとなるお約束を感謝します。

1月16日（月）

聖書
聖句

I ヨハネ 5・1

生んでくださった方を愛する者はみな、その方から生まれた者も愛します。
1節

神様はね、あなたの名前を呼んで「愛しているよ。あなたは特別なんだよ。」と、どんなときも言ってくださるお方です。神様のことを知れば知るほど、どんなに神様があなたを愛してくれているかきつとわかるはず。どうかな？

それと同じように、神様の子どもになった人たちのことも、おなじ愛で、神様は愛してくださっているよ。

だいすきな神様が、わたしを愛されたように、神様の子どもたちを愛しているんだもの。わたしも、神様の愛されている人を愛したい！

祈り

天のお父様、あなたの愛されている人たちを愛します。

1月17日（火）

聖書
聖句

I ヨハネ 5・2

神を愛し、その命令を守るときはいつでも、私たちは神の子どもたちを愛するのです。
2節

あなたが大好きなお友だちに、いっしょうけんめいやさしくしてあげたら、「だいすきだよ」って言わなくても「だいすきな気持ち」って伝わるでしょう？

「だいすき」はね、そのことばもたいせつだけど、何かをしてだれかの力になってあげることのほうがもっとたいせつなんじゃない？

そうやって、神様の家族が、おたがいの力になったり支えあったりしていれば、そこに愛があるんだなって、みんなに伝わっていくよね。

祈り

天のお父様、ことばよりも、だれかの力になって愛をつたえられますように。

1月18日(水)

聖書
聖句

Iヨハネ5・3

神の命令を守ること、それが、神を愛することです。 3節

神様から命令だって！でもそれは、あれもこれも守っていい子にしていなくて天国に行けないよ！というきびしいものではなく「互いに愛する」ということだけなのです。

神様が本当にあなたに願っておられるのは、イエス様が愛された愛で愛し合うこと！イエス様が私たちのお手本っていうことだね。ゆるしあうことも、助け合うことも、祈り合うことも、きっとできるよ、イエス様の愛が本当にわかるなら。だって心の中には愛がたくさんあって喜びがいっぱいだから！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の愛で心をいっぱいにしてください。愛のルールで生きられますように。

1月19日(木)

聖書
聖句

Iヨハネ5・4

神から生まれた者はみな、世に勝つからです。 4節

どうしても愛したくない、どうしてもゆるしたくない、そんな人がいますか？ だとしたら、心の中はものすごく苦しいよね。

イエス様はね、十字架にかかることを知りながら「勇気をだしなさい。わたしはすでに世に勝った！」と励ましてくださいました。

傷つけたり、うらぎったり、ばかにする人だらけの世界でも、イエス様が愛し続け、ゆるし続けたのは、だれにもうばえない神様からの愛と喜びと平和が心にあったからなんだ。

そして、あなたもイエス様が世に勝たれたように、ぜったい大丈夫！と約束されているよ！

いのちの祈り 天のお父様、世に勝たれたイエス様のお約束を感謝します。

1月20日(金)

聖書
聖句

Iヨハネ5・4

私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。 4節

悪魔がこわいとか、罪をどうにかしたいけど自分じゃどうにもできないなんて、こわがっている人はいませんか？

でもね、それもないせつな「気づき」だと思えよ。人は自分の力では罪や悪魔の強い力に勝つことはできないでしょう？

だからこそ、イエス様が十字架にかかって悪魔に勝ち、みんな恐れている死や地獄の力に勝ってくださったんだもの。

そっか！ イエス様がもう勝ってくださったんだから、おそれなくていいんだね！

いのちの祈り 天のお父様、よわいわたしのために、イエス様が罪や悪魔や死の力に勝ってくださっていることを信じ、感謝します。

1月21日(土)

聖書
聖句

Iヨハネ5・5

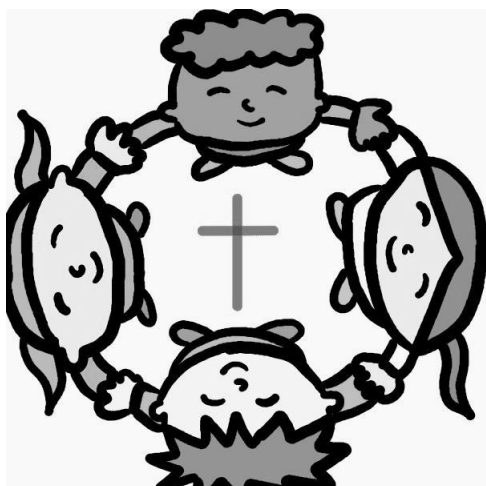
世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。 5節

ヨハネがこの手紙を書いていたころ、にせ教師と呼ばれる人たちがたくさんいたみたい。その人たちは、イエス様は神様からつかわされた救い主ではないとか、罪なんてないとか、神様が人にどんなことを願っておられるかを無視するようなことを教えただ。

今の世界も同じでしょう。イエス様を信じてなくてもみんな天国に行くとか、イエス様が救い主なんて何言ってるの？ とか言っているね。

でもね、聖書は、イエス様が神様のひとり子、救い主、イエス様を信じた人が神様のところへ行けるって言ってるよ。にせの教えに注意！

いのちの祈り 天のお父様、この世界にもにせの教えがたくさんあります、お守りください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

エペソ 2・19～22

神の家族と共に

あなたがたは、もはや他^た国^{こく}人^{じん}でも
寄^{きりゆう}留^{りゅう}者^{しゃ}でもなく、聖^{せい}徒^とたちと^{おな}じ^{くに}国^{くに}
の民^{たみ}であり、神^{かみ}の家族^{かぞく}なので
す。

エペソ 2・19

目標

神の家族の一員として生きる

1 月 22 日 (日)

聖書
聖句

エペソ 2・19

あなたがたは、もはや他^た国^{こく}人^{じん}でも
寄^{きりゆう}留^{りゅう}者^{しゃ}でもなく、聖^{せい}徒^とたちと^{おな}じ^{くに}国^{くに}
の民^{たみ}であり、神^{かみ}の家族^{かぞく}なのです。

19 節

イエス様を信じた人^{ひと}を「あなたはわたしの愛
する子^こども」と言^いってくださる神^{かみ}様^{さま}。全^{ぜん}世^せ界^{かい}を
見てみると、イエス様を信じて神^{かみ}様^{さま}の子^こどもに
な^なった人^{ひと}がた^たくさんい^いるんだから、みな神^{かみ}様^{さま}
の家族^{かぞく}で、あなたもその一^{ひと}人^りだよというのです。

イスラエルという国^{くに}を神^{かみ}様^{さま}が選^{えら}んで、ユダヤ
人^{じん}だけが選^{えら}ばれた人^{ひと}たちだっ^たのに、イエス様^{さま}
を信^{しん}じることで、ど^どの国^{くに}の人^{ひと}でも選^{えら}ばれた神^{かみ}様^{さま}
の子^こどもにさ^され、神^{かみ}の家族^{かぞく}になる！ というお
話^{はなし}です。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、わたしもイエス様^{さま}を信^{しん}じて
あなたの子^こどもとなり、神^{かみ}様^{さま}の家族^{かぞく}に選^{えら}
ばれていることを感謝^{かんしやう}します。

1 月 23 日 (月)

聖書
聖句

エペソ 2・19

あなたがたは、もはや他^た国^{こく}人^{じん}でも
寄^{きりゆう}留^{りゅう}者^{しゃ}でもなく、聖^{せい}徒^とたちと^{おな}じ^{くに}国^{くに}
の民^{たみ}であり、神^{かみ}の家族^{かぞく}なのです。

19 節

どんな人^{ひと}も、最^{さい}初^{しよ}はお父^{とう}さんとお母^おさんが
いて、なかには兄^{きやう}弟^{だい}や姉^せ妹^{まい}がで^かき、家族^{かぞく}がで
きていくよ。でも、本^{ほん}当^{とう}の家族^{かぞく}だっ^てケン
カしたり傷^{きず}つけ合^あったりするものです。

こんな小^{ちい}さな家族^{かぞく}で、愛^{あい}したりゆ^あるせたり
でき^かないのに、ど^どうやっ^て神^{かみ}様^{さま}の家族^{かぞく}を愛^{あい}
していけるだろ^う！

相^あ手^てが変^かわるこ^ことばかりねがうのでなく、
「愛^{あい}します」とい^いうあなた^{あなた}の心^{こころ}と行^{おこな}いが
必^{ひつ}要^{よう}なんだよ。神^{かみ}様^{さま}のあなた^{あなた}へ^への愛^{あい}が、あ
なた^{あなた}を^か変^かわらせてくださ^さるんだよ！

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、あなたにこ^こんなにも愛^{あい}され
てい^いるわたしも「愛^{あい}する人^{ひと}になる」とい
う決^{けつ}心^{しん}をします。

1 月 24 日 (火)

聖書
聖句

エペソ 2・20

使^し徒^とたちや預^よ言^{げん}者^{しゃ}たちとい^いう土^ど台^{だい}
の^う上^えに^た建^たてられてい^いて、キリ^きス^すト・
イ^いエ^えスご自^じ身^{しん}がその要^{かなめ}の石^{いし}です。

20 節

使^し徒^とは新^{しん}約^{やく}聖^{せい}書^{しょ}の時^じ代^{だい}、預^よ言^{げん}者^{しゃ}は旧^{きう}約^{やく}聖^{せい}書^{しょ}
の時^じ代^{だい}の人^{ひと}。そし^て、聖^{せい}書^{しょ}の物^{もの}語^ごの続^{つづ}きには
わ^わた^たし^しち^ちが^がい^いるんだね。聖^{せい}書^{しょ}がな^なけ^けれ^れば、
神^{かみ}様^{さま}もい^いのち^ちの意^い味^みや目^{もく}的^{てき}も知^しら^らないで生^し
き^きて^てい^いたか^かも…聖^{せい}書^{しょ}は、あ^あな^なた^たの「人^{じん}生^{せい}のお^おう^うち」
がど^どんな場^ば所^{しょ}に^た建^たつてい^いる？ と聞^きいてるんだ。

ど^どんなに新^{あたら}しく^くてき^きれ^れい^いな^なお^おう^うち^ちも、もし
建^たつてい^いる場^ば所^{しょ}がし^しっ^くかり^りした良^よい場^ば所^{しょ}
(土^ど台^{だい}) でな^なけ^けれ^れば、地^じ震^{しん}や^や洪^{こう}水^{すい}が来^きたとき、
あ^あっ^っとい^いうま^まにこ^こわ^われて^てし^しま^まうで^でし^しょう？
人^{じん}生^{せい}も同^{どう}じ^じな^なんだよ。土^ど台^{だい}は聖^{せい}書^{しょ}！

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、聖^{せい}書^{しょ}を^し知^しら^らな^なけ^けれ^れば今^{いま}
自^じ分^{ぶん}はあ^あり^りま^ませ^せん^んで^でした。感^{かん}謝^{しや}します。

1月25日（水）

聖書
聖句

エペソ 2・20

使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。

20節

要の石というのはね、ふたつの大きな壁をつないで支える、家を造るのにどうしてもひつような石のこと。聖書は、イエス様が要の石って言ってるよ。

イエス様は、旧約聖書に約束されたユダヤの救い主だったのに、ユダヤ人たちはイエス様を信じず十字架につけてしまったから、異邦人とよばれる私たちにイエス様の救いがやってきたんだ。イエス様なしに神様の救いの計画は完成しないんだから、まさに要の石だね！

いの
祈り

天のお父様、このわたしにも、要の石イエス様の救いが届いたことを感謝します。

1月26日（木）

聖書
聖句

エペソ 2・21

このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。 21節

ユダヤ人はイエス様を捨ててしまったんだから、神様の救いはもう必要ないって思う？

いいえ。神様はわたしたちに救いを与えてくださったように、すべてのユダヤ人もイエス様を救い主として受け入れることを、今も心から願っておられます。そうしないと、旧約聖書に約束されたユダヤ人の救いは完成しないだけでなく、なんのための旧約聖書だったの？ っていうことになっちゃうよね。

あなたがイエス様を信じたように、すべてのユダヤ人がイエス様を信じる日が来ることを祈っていいこうよ！

いの
祈り

天のお父様、ユダヤの人すべてが、イエス様を信じられますように。

1月27日（金）

聖書
聖句

エペソ 2・21

このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。 21節

教会って聞くと、建物のことだと思っちゃう人、少なくないよね？ でもじつは、教会は、イエス様を信じている一人ひとりの集まりのことなんだ。その、イエス様を信じる一人ひとりが集まって、祈り合い、愛し合い、イエス様のために喜んで働くときに、少しずつかもしれないけど、建物が少しずつ完成していくように、成長していくんだ！

だから、教会はひとりぼっちで信じてるのでも戦うのでもないんだね。だれよりも、イエス様がいっしょにいて、働いてくださるから、心強いよね！

いの
祈り

天のお父様、みんなでいっしょに成長する教会でありますように。

1月28日（土）

聖書
聖句

エペソ 2・22

あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。 22節

あなたには大好きな人がいますか？ 大好きな人には自分のことをもっと知ってほしいし、たくさんお話ししたり、プレゼントもあげたいし、いっしょにいたいよね！ そういう、大好きな人との関係を「愛の交わり」というんだ。

わたしを愛し、信じるすべての人を愛される神様はね、愛の交わりをあなたと持ちたいと願われるお方です。イエス様を心から信じる教会には成長があるだけでなく、神様ご自身がいっしょにいて、そこに住んで、愛の交わりをしてくださるんだ。すごいことだよ！

いの
祈り

天のお父様、こんな小さなわたしたちと共に住んでくださることを感謝します。



聖書

ヨハネ 13・34～35

テーマ

愛によって

暗唱聖句

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。ヨハネ 13・34

目標

神に愛されている者として、互いに愛し合う生き方を身につける。

1月29日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 13・34

わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。34節

イエス様は、新しい戒めを与えられました。それは「互いに愛し合いなさい」というもの。わたしたちが大切にまもっている神様の言葉、戒めはたくさんあります。イエス様は、その中でもとくに大切なものは「互いに愛し合う」ことだよ！と新しく教えられました。

人間はだれでも、「ああしてほしい、こうしてほしい」と自分ばかり愛してもらうことを考えがち。イエス様は、「互いに」愛し合いなさいと言われましたよ。そのためには、まず自分のほうから愛していかないと。

いの祈り

天のお父様、互いに愛し合うために、まずはわたしから愛することができるよう、助けてください。

1月30日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 13・34

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。34節

イエス様がわたしたちを愛してくださったように、愛し合う。これ、よく考えるとむずかしいことなのでは…。まさに、ここが、これまでとちがう「新しい」いましめなんですね！

イエス様は、わたしたちの罪のみがわりに、十字架で命をすててくださいました。命をすてるほどの愛。そんな愛で人を愛せるかな…と、考えてしまいます。でも、イエス様の愛がどんなに大きいかを考えるよい機会です。イエス様の愛をめざして生きる、これが大切ですね。

いの祈り

天のお父様、わたしの愛は、イエス様の愛とくらべたらほんとうにちっぽけです。イエス様の愛をめざしてあゆみます。

1月31日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 13・35

互いの間に愛があるなら、…わたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。35節

互いに愛し合うと、すべての人が、「あの人たちはクリスチャンだ、だから愛し合っているんだ」と、認めてくれるということです。クリスチャンのしるしは、愛し合う人たちだってこと。それが、イエス様のほんとうの弟子の姿なのです。

クリスチャンは正しい人でしょ？と思う人が多いけど、正しいだけではダメ。愛がないと、「あの人は悪い人だ！」と、すぐ人をさばくようになります。わすれないで。クリスチャンは、まず愛が基本ですよ。

いの祈り

天のお父様、なによりも愛し合うことを大切にします。クリスチャンだ！とわかってもらえる人になりたいです！

2月1日（水）



I ヨハネ 4・7～8

愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。 8節

おなじヨハネが書いた、ヨハネの手紙第一を
読んでみましょう。わたしたちが愛し合うため
に、大切なことが書かれているんです。

愛することができる人は、神様から生まれ、
神様を知っている人。ぎゃくに、愛することが
できない人は、神様を知らない人です、とあり
ますね！ もし、あなたに愛せない誰かがいる
としたら、神様の愛を知るひつようがあるの
です。なぜなら、神様は愛だから！ 愛は、も
とも神様がもっておられたものです。愛せない
人がいるのは、とてもくるしいこと。神様が、
ほんとうの愛を教えてくださいます。

いの祈り 天のお父様、わたしがどんな人も愛せるよ
うに、ほんとうの愛を、わたしに教えてく
ださい。

2月2日（木）



I ヨハネ 4・9～10

私たちの罪のために、有めのささげ
物としての御子を遣わされました。こ
こに愛があるのです。 10節

イエス様は、父なる神様にとって、なにより
も大切な存在でした。イエス様のかわりになる
存在なんていないので、ひとり子、というので
す。そんなイエス様を十字架につけるなんて、
どんなに苦しかったか！ ご自分を失うような
苦しみでした！

こんな思いをしてまで、父なる神様はあなた
を愛されたのです。あなたが罪ゆるされて、永遠
のいのちをもつためです。こんな愛は、ほかに
はぜったいにありません。これが愛です。ほん
とうの愛なのです。

いの祈り 天のお父様、あなたはこんなにまで、わた
しを愛してくださいました。ほんとうの愛
で愛してください胸がいっぱいです。

2月3日（金）



I ヨハネ 4・11～12

神がこれほどまでに私たちを愛して
くださったのなら、私たちもまた、互
いに愛し合うべきです。 11節

神様が愛してくださったのは、わたしたちが
愛し合うためでもあるのです。それは、すべて
の人が、神様の愛を知るためです。

神様を目で見ることはできませんね。でも、
わたしたちが愛し合うと、わたしたちをとおし
て神様の愛のすばらしさは伝わっていくん
です。愛し合うところに、神様は共にいてくださ
います。「神様の愛ってすごいなだね…」と、
神様を知らない人にもきっと伝わります！ そ
れが、神様の心からの願いなのです。

いの祈り 天のお父様、あなたが愛して下さったの
で、わたしも心から愛し合います。わた
しをとおして、人々にあなたの愛が伝わり
ますように。

2月4日（土）



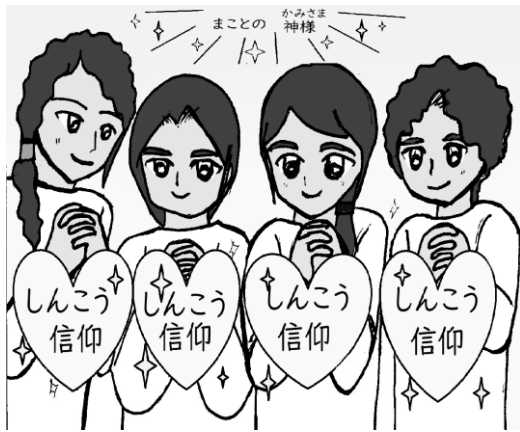
ヨハネ 13・34～35

わたしはあなたがたに新しい戒め
を与えます。互いに愛し合いなさい。 34節

最後に、「愛し合う」というのは、自分と考
えがちがう人、気のあわない人どうしても愛し合
う、ってことをおぼえてください。そんなのむ
りだよ…と言うのが世の中。でも、教会では、
ちがう人どうしても愛し合うのです！ それが、
世の中とまったくちがうところ。これはイエス
様を知らない人には驚きです。イエス様のいま
しめは、いつでも新しくて人々を驚かせます。

ちがう者どうし、互いに愛し合う。これがほ
んとうの教会の、ほんとうのクリスチャンどう
しの姿です！

いの祈り 天のお父様、どんな人とも愛し合う、ほん
とうの教会、ほんとうのクリスチャンにな
らせてください！



聖書

ダニエル 1・8～16

テーマ

ダニエル①汚れから離れる

暗唱聖句

ダニエルは、王が食べるごちそうや王が飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定めた。

ダニエル 1・8

目標

汚れに満ちた世にあって、きよい生き方を守る。

2月5日（日）

聖書
聖句

ダニエル 1・8

身を汚すまいと心に定めた。

8節

イスラエルがバビロンという国に滅ぼされたとき、たくさんのイスラエル人がバビロンにつれて行かれました。ダニエルと仲間たちは、バビロン王に仕えるためにつれて行かれました。そこで出された食事は、王様が食べるごちそうとお酒！ ごちそうの中には、神様が食べてはいけない！と禁止された物もありました。「神様が禁止された食べものを食べて、自分を汚したくない。きよい生き方をしたい」。ダニエルはごちそうを食べないことにしました。神様が悲しむことはしない！と決心したのでした。

いの祈り

天のお父様、ダニエルのように、わたしもあなたが悲しむことはしないように、助けてください。

2月6日（月）

聖書
聖句

ダニエル 1・8

身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願うことにした。

8節

「どうか、王様が食べるごちそうを食べなくてもよいようにしてください！」。王様が食べるごちそうは食べない！と決めたダニエルは、王様のお世話をする宦官の長にお願いをしました。宦官の長はびっくり！こんなにおいしいごちそうは、ふつうは食べられないのに。「神様を悲しませたくない。きよく生きていきたい！」と強い決心をしたダニエルは、黙っていないで、勇気をだして自分の願いを伝えました。神様の前にきよく生きるため、勇気をだして立ちむかったのです。これがほんとうの勇気。

いの祈り

天のお父様、わたしも神様の前にきよく生きるために、勇気をだすことができますように。

2月7日（火）

聖書
聖句

ダニエル 1・9～10

あなたがたの顔色が同年輩の少年たちよりもすぐれないのを、王がご覧になるのはよいことだろうか。 10節

ダニエルは勇気を出してお願いしましたが、お願いされた宦官の長は困った顔をして言いました。「あなたたちの食事は、王様が決めたのです。ごちそうを食べさせないで具合が悪くなったら、わたしが罰をうけるんです！」。さて、こまりました。せっかくのお願いが聞いてもらえそうにありません。

神様の前にきよく生きようとするとき、人間の都合でやめさせられそうになることがあります。宦官の長は、神様がどう思われるかより、人間である王様がどう思うかをいちばんに考えて、心配になったのですね。

いの祈り

天のお父様、人ではなく、神様がどう思われるかを考えていけますように。

2月8日（水）



ダニエル 1・11～13

どうか十日間、しもべたちを試してください。
12節

宦官の長に聞きいれてもらえなくても、ダニエルはあきらめません。今度は、ダニエルと仲間の世話役のところへ行き、こう言いました。「どうか、十日間だけ、ためしにわたしたちに野菜と水だけ食べさせてください。ごちそうを食べる人とわたしたちをくらべてください!」。十日だけの、おためし期間をください、ということですね。

きよく生きることをけっしてあきらめないダニエルに、神様は知恵をあたえられたのです。世話役はダニエルの熱心に負けて、十日間だけ野菜と水を出すことにしました。

いの祈り 天のお父様、わたしもきよく生きることをあきらめることがないよう、助けてください。

2月9日（木）



ダニエル 1・14～15

彼らは、主が食べるごちそうを食べ、
ているどの少年よりも顔色が良く、
からだつきも良かった。
15節

ダニエルたちは十日間、野菜をモリモリ食べ、水をゴクゴク飲みました。ほかの若者たちは王様が食べるごちそうを食べました。十日がすぎて、さあ、ダニエルたちの健康チェックです。そうしたらなんと、ごちそうを食べている若者たちより、ダニエルたちのほうがお肌がツルツル! 身体もガッシリ! 元気いっぱいでした! 神様はダニエルたちに、誰よりも健康な身体をくださいました。きよい生き方を求めたダニエルたちを、神様は祝福してくださったのです。

いの祈り 天のお父様、きよい生き方には、神様の祝福があることを知りました。感謝です!

2月10日（金）



ダニエル 1・14～16

彼らが食べるはずだったごちそうと
飲むはずだったぶどう酒を取り下げ、
彼らに野菜を与えることにした。
16節

健康なダニエルたちを見た世話役は、すっかり感心してしまいました。そこで世話役は、ごちそうとお酒を出すことをやめて、野菜と水だけ出すことを決定! 十日間だけではなく、ずっと水と野菜を食べることになったのです。

ダニエルの願ったとおり、きよい生きかたができるように、生活する場所が変えられました。わたしたちも、神様の前にきよく生きたいと願うなら、神様は生活する場所まで、きよく作り変えてくださるのです。

いの祈り 天のお父様、わたしがきよい生きかたができるように、生活するところをきよく作りかえてください。

2月11日（土）



ダニエル 1・8～16

身を汚すまいと心に定めた。
8節

ダニエルがつれて行かれたバビロンという国は、本当の神様を信じないで偶像礼拝をしたり、神様を悲しませる罪の汚れでいっぱいでした。しかし、そんな中でもダニエルは神様を心から愛しました。神様のまえできよく生きることを決してあきらめず、神様に祝福されました。わたしたしの周りも、神様が悲しまれる罪、汚れでいっぱいです。しかし、ダニエルのようにきよく生きることを願うなら、神様は必ず知恵を与えてくださいます。さらに、あなたを祝福してくださいます! さあ、ダニエルに続こう!

いの祈り 天のお父様、あなたが悲しまれる汚れから守ってください。きよい生き方をおして、あなたの祝福を体験したいです!



聖書
テーマ
暗唱聖句

ダニエル 3・8～25

ダニエル② 三人の若者たち

たとえそうでなくても…私たちはあなたの神々には仕えず、あなたが建てた金の像を拝むこともしません。ダニエル 3・18
神の守りを信じつつ、どんなことがあっても神にのみ仕える者となる。

目標

2月12日(日)

聖書
聖句

ダニエル 3・8～25

私たちが仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。17節

みんながやってるから、私もしなきゃというのとはかなりちがった生き方をするのが、まことの神様を信じる人たちです。ここの三青年がそうでした。27ドルものどでかい金ピカの像をネブカドネツアルは建て、音楽とともに拝ませました。でも三青年は拝みません。「もし、拝まないなら火の燃える炉の中に投げ込む」と言われてもです。彼らは自分たちが信じて仕えている神様は救ってくださると徹底的に信頼しました。たとい死ぬとしても、金の像は拝みませんと！

祈り 天のお父様、目に見えないあなたを信頼するのはとても難しいですが、見えるものに惑わされずあなたに信頼します。

2月13日(月)

聖書
聖句

ダニエル 3・1～7

ネブカドネツアル王は金の像を造った。1節

王の頭の中には、あの夢のことがきつとぐるぐる回っていて忘れられなかったのでしょうか。そして思い立って、一つの金の像を造りました。高さ27ドル、幅2.7ドルという、それはそれは巨大なものでした。しかも、あの夢とは全然ちがって、頭のとっぺんから足のつま先まで、金ピカだったのです。「ワシの国はいつまでも続くのじゃ、すべての者はひれ伏して拝め——」と、まるで、天のまことの神様への大反逆の姿ではありませんか！

祈り 天のお父様、ダニエルによる夢解きにもかかわらず、王はそれを無視しました。あなたのみ恐れさせてください。

2月14日(火)

聖書
聖句

ダニエル 3・8～12

この機会に、あるカルデア人たちが進み出て、ユダヤ人たちを中傷して言った。8節

ダニエルの夢解きの前から、若くて美しくて賢い四人の青年たちは、王のお気に入りである王の前にはべっていました。おまけにあの夢解きのおかげで、ダニエルには高い位が授けられ、贈り物まで与えられ、バビロン全州の総督とされました。このダニエルの願いによって三青年もバビロン州の事務をつかさどるようになりました。バビロンの人々は大いにねたんで、ネブカドネツアル王に訴えました。「あの事務をとる三人はあなたの金の像を拝みません」と。

祈り 天のお父様、いつでも神様を信頼し従う者、祝福されている人をアクマはねたむのだとよくよく悟りました。

2月15日（水）

聖書
聖句

ダニエル 3・13～18

たとえそうでなくても、主よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々には仕えず、あなたが建てた金の像を拝むこともしません。 18節

まことの信仰は、ご利益信仰ではありません。救ってくれるから信じるのでも、願いを聞いてくれるから信じるのでもありません。神様がまことの神様だから、恐れ敬い、従うのです。この神様以外のものは拝まないのです。たとい救ってくださらなくて、火の燃える炉の中で死ぬようなことになろうとも、私たちは王の神々に仕えず、王の立てた金の像を拝みませんという、まさに命をかけた本物の信仰なのです。

いの
祈り

天のお父様、三青年のスゴミのある信仰の姿勢は立派です。私にもそのような筋金入りの信仰を養ってください。

2月16日（木）

聖書
聖句

ダニエル 3・19～23

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ちて行った。 23節

ネブカドネツアル王はカンカンに怒って、三青年にむかって顔色を変えてしまうほどでした。そして「炉の温度を平常よりも7倍も熱くせよ」と命令しました。きっと王の顔もまっかつかだったのでしょうか。力の強い人々が三人をそのまましばって、炉のそばまで行きました。すると、あまりに熱く熱く燃えていたので、引きつれて行った人々はその炎で焼き殺されてしまったのでした！！三青年は、しばらくたまたま、心静かにその火の燃える炉の中に落ち込んでいきました。おお！！

いの
祈り

天のお父様、三青年の、あなたへの何という信頼！その落ち着き、その姿は言葉にできないほどのものです。

2月17日（金）

聖書
聖句

ダニエル 3・24～25

第四の者の姿は神々の子のようだ。 25節

ガバツと突然立ちあがるネブカドネツアル王！「われわれはあの三人をしばって、火の中に投げ入れたのではないか。」「王よ、そのとおりです」。王は目をこするかのようにして、目を皿のようにして叫びます、「ややっ、四人じゃ。なわめもなしに火の中を歩いているぞ。どうしたとか、なんの害も受けておらんぞ。その第四の者…うーむ、神々の子のようだ。王様は全くなってしまうした。そう、実は神の子イエス様が彼らと共に歩き、救ってくださったのです。

いの
祈り

天のお父様、やっぱり、何というあなたらしいみわざでしょうか。信頼する者をはずかしめないあなたをほめたたえます。

2月18日（土）

聖書
聖句

ダニエル 3・26～30

髪の毛も焦げず、上着も以前と変わらず、火の臭いも彼らに移っていなかった。 27節

マッチの火で髪の毛を焼いたり、まつ毛やまゆ毛を焼いたりしたことのある人、いるでしょう？ ストーブやたき火の近くでつい洋服をこがしたりしたことのある人もいるかな？毛はちりちりになるだけでなく、こげ臭いにおいがします。洋服だって同じですね。ところがです！ふだんより7倍も熱くしている火の燃える炉の中にそのままほうり込まれたのに、火のにおいも付かなかったなんて！！全く、完全勝利でした！まことの神様のみわざはただスゴイ。

いの
祈り

天のお父様、捕われの地、偶像の地で、三青年を用いてあなたがあざやかに栄光をあらわされ、感謝します。



聖書
テーマ

ダニエル 6・1～24

ダニエル③ 獅子の口からの守り

暗唱聖句

私の神が御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので、獅子は私に何の危害も加えませんでした。ダニエル 6・22
圧迫や迫害の中でも、神への礼拝を貫く。

目標

2月19日（日）

聖書
聖句

ダニエル 6・24

私の神が御使いを送り、獅子の口をふさいでくださった…。 22節

動物園やサファリなんかで、遠くから、「ガオーッ」ってほえてるライオンを見るのは平気だけど、そのライオンが何匹も目の前にやってきましたら、恐くて、気絶してしまいます。そんなライオンの穴に入れられたダニエルのお話です。ダニエルのことをねたんで、わなにかけて、獅子の穴の中に投げ入れたのです。王は一晩中、全然眠れず、朝になって穴に近づいて声をかけると、元気なダニエルの声！「王様、わたしの神が獅子の口をふさいで、これ、この通りわたしはピンピンしています」と。

いの祈り

天のお父様、ダニエルのように、わたしもあなたを、「わたしの神」と信じお頼りし、お従いしお仕えいたします。

2月20日（月）

聖書
聖句

ダニエル 6・1～5

彼は忠実で、何の怠慢も欠点も見つからなかったのである。 4節

勉強や運動がよくできたり、先生にほめられているお友だちを見たりしたら、あなたは一緒に喜んであげられます？ それともあまりいい気がしなくてねたむ心になりますか？ ダニエルはとても優秀な人で、王様のお気に入りとなり、全国を治めるような所にまで引き立てられたのです。大臣や太守らは何とか訴える口実を捜そうとしても見つかりませんでした。こうなるとダニエルの神の律法に関して見つける他ないと考えます。ねたみというのはとても恐ろしいものです。

いの祈り

天のお父様、ねたまれることはあっても、決してねたむ者になることがないようにわたしの心をお守りください。

2月21日（火）

聖書
聖句

ダニエル 6・6～9

そこで、ダレイオス王はその禁令の文書に署名した。 9節

おだてられたり、ちょっと持ちあげられたり、ほめられたりするとあぶないから要注意！ このダレイオス王がそうでした。まんまと大臣や太守らのわなにひっかかってしまったのです。「今から三十日の間は、ただ、王様、あなたにのみ願い事をさせ、もしあなたをおいて、神または人にこれをなす者があれば、すべてのものを、獅子の穴に投げ入れるという、このことに同意して、禁令の文書に署名してください」と。王様は少しいい気持ちで署名しました。

いの祈り

天のお父様、自分がほめられたりする時、心にすきができ、悪魔のわなに陥りやすくなるので注意します。

2月22日（水）

聖書
聖句

ダニエル 6・10～13

彼は以前からしていたように、日に
三度ひざまずき、自分の神の前に祈っ
て感謝をささげていた。 10節

もしあなたがただったらどうしますか？ その
ような文書が署名されたことがわかっていた
ら…？ 窓を閉じて、誰にも見られないように
お祈りしたらいいじゃないと思いますか？
ダニエルはというと、二階の部屋の、エルサ
レムに向かって窓の開かれた所で、誰にでも
見られる所で、以前からずっとおこなってい
たように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神
の前に祈り、かつ感謝したのです。「見た！
見えたぞ！」彼らはさっそくに王の前に出か
けました。

いの
祈り

天のお父様、どんな中でも、ダニエルの
祈りの習慣は少しも変わりませんでした。
わたしもなっていきたいです。

2月23日（木）

聖書
聖句

ダニエル 6・14～18

それで王は命令を出し、ダニエルは
連れて来られて、獅子の穴に投げ込
まれた。 16節

「な、なんと、あのダニエルがわしの署名した
文書の禁令をやぶってしまったというのか！
一日に三度ずつ、祈りをささげていると…」王
はとても大きな悩みと悲しみをかかえてしまい、
何とかダニエルを救いたいと、夕方、日が沈む
ころまであれこれ考えました。しかし、その
努力もむだになってしまい、ダニエルを訴える
人々はまた王のもとに集まってきて、もはや禁
令は変えられませんかと迫ります。ついに王の
命令により、ダニエルは獅子の穴に――。

いの
祈り

天のお父様、「おまえがいつも仕えている
神が、おまえをお救いになるように」と
の王の言葉がとても心にひびきます。

2月24日（金）

聖書
聖句

ダニエル 6・19～24

彼が神に信頼していたからである。 23節

小さいお友だちや若い人たちは、夜、全然眠
れないなんてことはないでしょう。ここでダレ
イオス王は、さすがに食べられない、眠れない
夜をすごしたのです。朝早く外に出て、獅子の
穴へ急ぎ、近づいて、「生ける神のしもべダニ
エルよ」と、もしかしたらライオンにかみ砕か
れているかも、と想像しながら悲しそうに呼ば
わりました。すると、中からダニエルの元気な
声！ 本当に彼が頼みとしていた神が救ったの
でした。

いの
祈り

天のお父様、あなたを頼りとする者のた
めにはライオンの口さえ閉ざされると
は！ 本気であなたに信頼していきま
す。

2月25日（土）

聖書
聖句

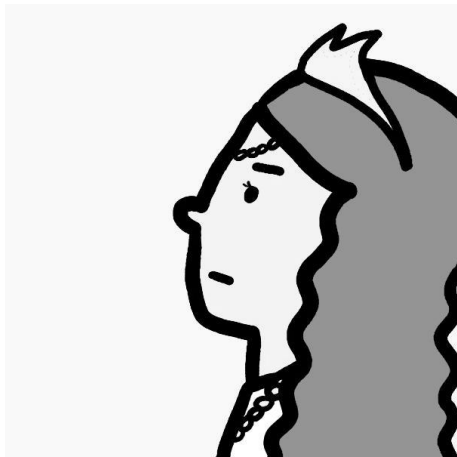
ダニエル 6・23～28

私の支配する国においてはどこ
でも、ダニエルの神の前に震え
おののけ。 26節

ねたんだり、人をおとし入れたりする人に、
神様のおとり扱いはとても厳しいです。ダニ
エルを訴えた人々は、奥さんも子どももみな
な、獅子の穴に投げ入れられ、獅子はとびか
かって、骨までもかみ砕いたとあります。しか
し、神様をいつでも、どんな時でも、第一にし
ていたダニエルを、神様は、獅子の口からも
完全に守られただけでなく、まことの神を拝ま
ないダレイオス王とその国の人々の前に、「ダ
ニエルの神」が高く高くあがめられました。

いの
祈り

天のお父様、あなたを心から信頼する者
が守られるだけでなく、あなたのみ名が
あがめられることを覚えます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

エステル 4・1～17

エステル

私は、死ななければならぬのでしたら死にます。

エステル 4・16

目標

神からの使命を命がけで果たす者となる。

2月26日（日）

聖書
聖句

エステル 4・16

私は、死ななければならぬのでしたら死にます。 16節

なにが本当に正しいのかしっかかんがえて、それをしようと心でしっかときめることを決断といいます。ときどき、わたしたちも「決断」しないといけないときってあるね。エステルも、大きな決断をしなければなりません。かんたんじゃなかったよ、自分の命を守るか、自分が死んだとしてもしなければならぬか、というくらいなもの！そして、自分の命をかけることをえらんだんだね！あなたも、たいせつなときに、本物の決断、神様の喜ぶ決断ができるといいね。

祈り

天のお父様、わたしにも、ここだというときに、エステルのように本物の決断ができる強さをください。

2月27日（月）

聖書
聖句

エステル 4・1～3

ユダヤ人の間には大きな悲しみがあり、断食と泣き声と嘆きが起こり、多くの人たちは粗布をまとって灰の上に座った。 3節

いったいどうしたの！？じつは、本当の神様を信じるユダヤ人のモルデカイが、ペルシャの大臣ハマンにひざまずかなかったので、それを気に入らないハマンがユダヤ人をみなごろしにする計画をし、王様にうまく言って命令を出させたのです！ユダヤ人たちは神様にむかっていのり、さげびました。いつの時代にも、神様を信じる人々を苦しめようとする人はいるけれど、そんなとき、平気でいてはいけません。神様にむかって心からお祈りし、助けてくださいと叫ぶのです。

祈り

天のお父様、あなたを信じる人が苦しむとき、心から祈れますように。

2月28日（火）

聖書
聖句

エステル 4・4～8

モルデカイは自分の身に起こったことをすべて彼に告げ…彼女に命じるためであった。 7～8節

モルデカイもふかく悲しみました。でも、ほかのユダヤ人とはちょっとちがうね！

モルデカイは、自分がこれからどんなことをすればいいのかわかっていたのです。お城にいるエステルはまだ、ユダヤ人がみんな殺される命令を知りません。そこで、エステルにこのことを知らせ、王様にハマンの悪い計画をつたえようとしたのです。そして、ちゃんとしたしようこもエステルに知らせたのです。

危険な中でも、知恵をはたらかせ、おちついて行動したモルデカイの心の中には、神様への強い信仰とユダヤ人への愛がありました。

祈り

天のお父様、危険なとき、あなたを強く信じ、おちついて行動できますように。

3月1日（水）

聖書
聖句

エステル4・9～11

わたしはこの三十日間、まだ王のところにへ行くようにと召されていません。
11節

モルデカイの伝言を聞いたエステルは、一つのことを心配していました。ペルシャの国の王様によばれないで会いに行くなら、どんな人も死刑になること。でも、王様が金の笏をこちらへさし出してくれたらゆるされる、というきまりがあったのです。エステルは、ペルシャの王様にいちばん愛されているお妃でした。そんなエステルでもどうなるかわからないのです。ただ、エステルはまだ気づいていないことがありました。たくさんのユダヤ人の心配よりも、自分がどうなるか、という心配をしているということでした。

いの
祈り

天のお父様、自分のことでなく、みんなを心配することができますように。

3月2日（木）

聖書
聖句

エステル4・12～13

あなたは、すべてのユダヤ人から離れて王宮にいますので助かるだろう、と考えてはいけません。
13節

あなたには毎日やらないといけないことがたくさんあるね。宿題や勉強、ならいごと、クラスでの係、だれかとのやくそく…そういうことをくりかえしながら成長するんだね！でも、せきにんをわすれると、大人の人から怒られるでしょ？ あなたをビシッとしかる人、まちがいをなおしてくれる人のこと、「うるさいな」なんて思ってますか？ 自分のまちがいを教えられたら、そのことに早く気づき、すなおに従える心をもっていてくださいね！

いの
祈り

天のお父様、おこってくれる人にも感謝して、自分のせきにんを思いだし、従えますように。そして、成長していけますように。

3月3日（金）

聖書
聖句

エステル4・14

あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、このような時のためかもしれない。
14節

モルデカイは、エステルに、せきにんのことだけを教えてくれたのではありません。エステルが動かないなら、ちがう方法でユダヤ人を助ける神様への信仰、そして、エステルがユダヤ人でペルシャ王妃になれた理由、です。だれもがとくべつな立場や役割をもらったら、自分のためだけのものとかんがえやすいね。

でも、神様はあなたが、その立場と役割をみんなのために使ってほしいとねがっておられることを、わすれないでくださいね！

いの
祈り

天のお父様、もし、とくべつな立場や役割をもらったら、そのときはわたしのためではなく、だれかのために使えますように。

3月4日（土）

聖書
聖句

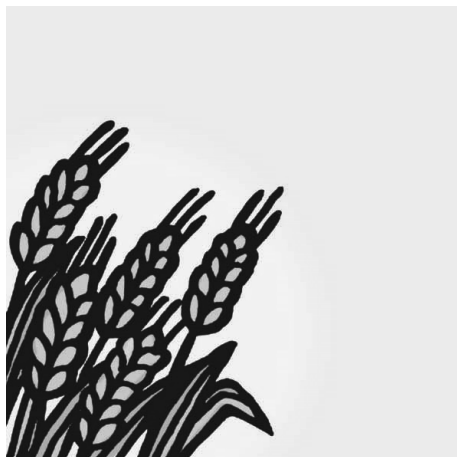
エステル4・16

スサにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食してください。16節

ペルシャの王様からいちばん愛され、大切にされていたエステルだったけれど、なんでも自由でわがままにしていいいとか、わたしなら大丈夫だわ、なんて思っていたはいなかったよ。それどころか、みんなといっしょに神様の前に必死にお祈りして、知恵や力をもらえなければ、なににもできないって思っていたんだね。わたしたちは、「自分の力」でできると思ったり、生きていると思うことがあるかもしれないね。でもそれはちがうよ。神様は、あなたの命や人生を動かされるお方。あなたのいのりにかかわらずこたえてくださるお方です！

いの
祈り

天のお父様、大切なことのために知恵と力を与えてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 12・20～28

一粒の麦として

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。

ヨハネ 12・24

目標

一粒の麦として死んでくださったキリストによる救いを受け取る。

3月5日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 12・24

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。 24節

今週は、「一粒の麦」がキーワード。麦と言えば、パンにうどん、ケーキなどの材料。いろんな食べ物にたくさんの麦が使われていますね。麦粒を土にまくと、新しい芽が出て、さらにたくさんの麦粒ができます。

たった一粒の麦が、たくさんの実を結んでいくように、あなたの人生が、たくさんの実を結ぶ、素晴らしい人生になりますように！ そのために、今週もイエス様が大切なお話を聞かせてくださいます。

祈り

天のお父様、わたしが皆さんの実を結ぶために、お話がよくわかるよう助けてください。

3月6日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～21

「お願いします。イエスにお目にかけたいのです」と頼んだ。 21節

イエス様が一粒の麦のお話をされたのは、過越の祭りはじまる直前のこと。祭りで神様を礼拝するため、エルサレムの町はたくさんの人たちでワイワイ、ガヤガヤ。その中には、何人かのギリシャ人がいました。そして彼らは、「イエス様にお会いしたいのですが…」とお弟子さんに頼んできたのです。

たとえユダヤ人ではなくても、「イエス様がどんなお方か知りたいな…」という気持ちがあったのですね。イエス様ってどんなお方か知りたいな！と思うことは大切なこと。イエス様のすばらしさがもっとわかるようになります。

祈り

天のお父様、イエス様のすばらしさをもっともっと知りたいです！

3月7日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～23

人の子が栄光を受ける時が来ました。 23節

「イエス様、ギリシャ人たちが会いたいそうです」と弟子たちがイエス様に伝えました。するとイエス様は、「人の子が栄光を受ける時が来ました」と言われたのです。

これは、イエス様が、ユダヤ人もギリシャ人も関係なく、すべての人のために十字架にかかる時がきた、という意味です。イエス様は、イエス様をたずねてきたギリシャ人たちのことを心から愛して、彼らのためにも十字架にかかってくださったのです。そう、もちろんあなたのためにも。

祈り

天のお父様、イエス様がわたしのことを愛して、十字架にかかってくださったことを心から感謝します！

3月8日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 12・24

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。 24節

イエス様はつぶけて言われました。「一粒の麦を土にまかなければ一粒のまま。しかし、土にまいてその麦が死ぬと、たくさんの実をむすびます」。一粒の麦は、土にまかれると新しい芽を出して、ボロボロになって消えてしまいます。でも、新しい芽はグングン育ってたくさんの麦粒をみのらせるのです。

イエス様は一粒の麦となって十字架の上で死んでくださいました。それは、すべての人が永遠のいのちをいただくことができるためだったのです。

祈り 天のお父様、イエス様が一粒の麦となつてくださったので、わたしも永遠のいのちをいただけることを感謝します。

3月9日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 12・25～26

この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。 25節

わたしたちが自分のことだけ考えて、自分のためだけに生きていくな、永遠のいのちは与えられません、とイエス様は言われました。逆に、自分のためだけでなく神様のために生きていくな、永遠のいのちが与えられるのです。

あれ、イエス様の十字架を信じたら永遠のいのちをいただけるのでは？もちろんそう。でも、信じたからもういいや、と神様を無視して生きていったら、永遠のいのちをすてるようなものです。せっかくイエス様に救われたいのちなんだから、神様のために生きていきませんか！

祈り 天のお父様、自分のためだけに生きるのではなく、あなたのために生きていけますように。

3月10日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 12・27～28

いや、このためにこそ、わたしはこの時に至ったのだ。 27節

これから十字架に向かつていこうとしているイエス様…、どんなお気持ちだったでしょう。それは、「わたしをお救いください」と神様にお祈りするほどつらかったのです…。しかし、つらくても「わたしは十字架にかかるためにきたのだ」と言われたのでした。

イエス様は、どんなにつらく苦しくても、神様のみこころに従われたのです。イエス様がつらく苦しい十字架にかかる決心をしてくださったから、今、わたしたちは永遠の命をいただくことができるのです。

祈り 天のお父様、イエス様が決心してくださらなかったら、わたしは救われませんでした。心から感謝します。

3月11日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～28

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。 24節

イエス様は、一粒の麦となって、十字架にかかって死んでくださいました。それがイエス様の使命だったからです。

あなたにも、神様から与えられている使命があります。それは誰かにやさしくしたり、助けてあげることかもしれません。ほかに、どんな使命があるかな？自分のためだけに生きるのは、もうおしまい。神様と人のために生きることができたら、あなたも一粒の麦となってたくさんの実を結ぶことでしょう！

祈り 天のお父様、わたしの使命を教えてください。一粒の麦として生きて、たくさんの実を結ぶことができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 13・1～15

洗足の恵み

わたしがあなたを洗わなければ、
あなたはわたしと関係ないこと
になります。 ヨハネ 13・8
十字架による罪の赦しの恵みに
生きる者となる。

目標

3月12日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1

世にいるご自分の者たちを愛してき
たイエスは、彼らを最後まで愛された。
1節

イエス様が十字架にかかれる前の夜の、
イエス様と弟子たちは、過越の祭りのお食事会
をすることになっていました。イエス様は、
特別な気持ちでお食事会に行かれました。なぜ
なら、明日、ご自分が十字架にかかることをわ
かっておられたからです。これが弟子たちとの
最後の過越のお食事です…。

イエス様が最後までなさったことは、弟子た
ちにたいして愛をあらわすことでした。どんな
ふうに愛をあらわされたのか、学んでいきま
しょう。

いの
祈り

天のお父様、イエス様が弟子たちにあら
わされた愛が、よくわかるよう助けてく
ださい。

3月13日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1～5

弟子たちの足を洗い、腰にまとして
いた手ぬぐいでふき始められた。
5節

この時代、家にはいるときは、しもべが上着
をぬいで、家に入る人の足を洗ったんですって。
弟子たちがお食事のために家に入ると、なんと、
イエス様が上着をぬいで、水をくんで、弟子た
ちの足を洗い始められたのです。弟子たちは
びっくり！ イエス様は弟子たちの足を水で
ジャブジャブ、手ぬぐいでふきふき。

弟子たちの中には、イエス様を裏切ろうとし
ていたイスカリオテのユダもいました。イエス
様はユダの心をわかっておられましたが、彼
の足も心をこめて洗われたのです。

いの
祈り

天のお父様、わたしにたいして悪いこと
をする人も愛せるように、助けてくださ
い。

3月14日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1～6

主よ、あなたが私の足を洗ってくだ
さるのですか。
6節

イエス様が、まるでしもべのように、汚れた
足を洗うなんて…！ 実は、弟子たちは、「弟子
の中で、誰がいちばんえらいか？」と話をし
ていたところでした。誰かの足を洗うなんて
絶対したくありません。そんな時、いちばんえ
らいはずのイエス様が、ご自分からしもべのし
ごとをし始めたのですから、もうびっくり。ペ
テロの番になったとき、彼は思わず「イエス様
がわたしの足を洗ってくださるのですか…？」
と言ってしまいました。

ほかの人たちよりえらくなりたい、と思っ
ていた弟子たち。イエス様のお姿を見て、もの
すごいショックを受けたのです。

いの
祈り

天のお父様、えらくなりたいという思い
から、わたしを守ってください。

3月15日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 13・6～8

わたしがあなたを洗わなければ、
あなたはわたしと関係ないことにな
ります。 8節

イエス様はペテロに言われました、「わたし
がしていることは、あとでわかるようになりますよ」。意味がわからないペテロは、「わたしの
足を洗わないでください!」。イエス様に洗っ
ていただくなんて、とんでもない!と思ったの
です。するとイエス様は、「洗わなければ、あ
なたはわたしと関係ないことになります」。
えっ、それはいやだ!

イエス様が言われたことには、「はい、わか
りました!」とお返事することが大切です。
ちゃんと理由がわかるようになりますから。

いの
祈り

天のお父様、イエス様のことばに、いつ
もすなおにお返事できますように。

3月16日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 13・9～11

水浴した者は、足以外は洗う必要
がありません。全身がきよいのです。 10節

イエス様と関係がなくなっちゃう?! あわて
んぼうのペテロは、すかさず「じゃあ、手も頭
も洗ってください!」と言いました。するとイ
エス様は、「土だらけの足以外は洗う必要がな
いですよ」と言われました。

イエス様を信じる人は、心もからだもきれ
いにしていただいた人です。でも、罪のゆうわ
くにあたり、負けてしまうこともあります。
弟子たちの土だらけの足のように、わたしたち
の心は汚れやすいので、毎日、汚れた心をイ
エス様に洗っていただく必要があるのです。

いの
祈り

天のお父様、イエス様をとおして、罪で
汚れやすいわたしの心を、毎日洗って
きよくしてください。

3月17日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 13・12～14

あなたがたもまた、互いに足を洗い
合わなければなりません。 14節

弟子たちの足を洗い終わったイエス様は、こ
う言われました、「主であり、師であるこのわ
たしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、
あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなけれ
ばなりません」。

えらくなりたくない、と思うのではなく、しもべ
のように、お互いに仕え合いなさい、と言われ
たのです。イエス様はご自分を裏切ろうとして
いるユダの足まで洗われましたね。どんな人も
愛して、心をこめて仕えることを、イエス様は
教えられたのです。愛することって、仕えるこ
となんですね。

いの
祈り

天のお父様、どんな人も愛し、仕えるこ
とができるように助けてください。

3月18日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1～15

わたしがあなたがたにしたとおり
に、あなたがたもするようにと、あ
なたがたに模範を示したのです。 15節

イエス様が弟子たちの足を洗われたのは、
弟子たちに愛のお手本を見せるためでした。イ
エス様はこのあと、すべての人の罪のみがわり
に十字架にかかれます。神様に愛され、ゆる
していただいたものとして、わたしたちは心か
ら愛し合い、仕え合うのです。

神様は、しもべのようになって愛し、仕える
人をよろこばれるのです。さあ、イエス様のお
手本にならって、神様によろこばれる歩みをし
ていきましょう!

いの
祈り

天のお父様、あなたに愛され、ゆるされ
た者として、わたしがイエス様にならっ
て歩んでいけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 14・27～31
キリストにある平安
わたしはあなたがたに平安を残
します。わたしの平安を与えます。

目標

ヨハネ 14・27
どんな状況の中でもキリスト
からの平安を持って生きる。

3月19日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27
わたしはあなたがたに平安を残
します。わたしの平安を与えます。
27節

平安ってわかる？ 心がざわざわさわい
り不安でないこと、安心や無事なことだね。

イエス様がこのことを言ったのは、十字架に
つく前の晩のことでした。もし人が、自分が次
の日に死ぬとわかっていたら、平安なんてどこ
かに行っちゃって大さわぎするだろうに…。

でも、イエス様はご自分のことではなく、残
されていく弟子たちのことを考えていたのだ
でした。不安に負け、つまずき、倒れてしまう、
そんな人への愛のことばだったんだね。

イエス様もまた、神様に100%信頼していた
ので、こんな中でも平安だったんだね。

祈り 天のお父様、イエス様のような平安を持
つ者としてください。

3月20日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27
わたしはあなたがたに平安を残
します。 27節

人は心のどこかで「死はこわい」と思いな
がら生きているんだ。死はすべての終わりで、
絶望だと、思っているのかもしれないね。

イエス様は、永遠の命と天国の希望を与
えるために、人が罪のために永遠に滅びる者とな
らないために、十字架にかかってくださったね。

人のかかえる苦しみとイエス様の平安が
逆転して、イエス様が苦しんでわたしたちに
平安が来た、それが十字架なんだね！

罪から解放されて、神様の大きな愛を知って、
神様にたよって生きていってほしい、イエス様
はそう願っておられるんだね。

祈り 天のお父様、わたしが平安をもらうため
にイエス様が苦しまれたことをおぼえ、
感謝します。

3月21日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27
わたしは、世が与えるのと同じよう
には与えません。 27節

あなたは、どんなとき不安になりますか？
それをどうやって解決してきましたか？

この世が与える平安というのは、お金があれば
安心だ、健康があれば安心だ、勉強やスポー
ツができるから安心だ、有名だから安心だと、
なにか持っているから安心だと思わせるもの
のことです。

でも、そういう人たちもけっきょく、貧乏に
なったら、病気になったら、失敗やけがをし
たら、だれも見えてくれなくなったらどうしよう、
といつも不安をかかえていて、そうならないよ
うに必死になっているのです。

それでは平安にはなれないのです。

祈り 天のお父様、この世ではなく、あなたか
らの平安で心をみたくて下さい。

3月22日（水）



ヨハネ 14・28

わたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くことを、あなたがたは喜ぶはずです。 28節

大好きな人がどこかに行っちゃうなんて、ぜったいいや！ と、きっとだれもが思うよね。お弟子さんも自分たちのことしか考えられず、そんな気持ちだったんだろうね。

でもね、イエス様にとっては、天の神様のそばにいるのがいちばんしあわせなことだよ。

イエス様は、人を愛して、人に命まで与えるために来てくださいました。わたしたちが言う「愛」はにぎりしめて手ばなさない愛だけど、イエス様は手ばなして与えるばかりの愛だね。

愛するだれかのためににぎりしめているものを手ばなすことも、学んでいきたいね。

いの

祈り 天のお父様、イエス様のような愛を、わたしも持つことができますように。

3月23日（木）



ヨハネ 14・29

今わたしは、それが起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったとき、あなたがたが信じるためです。 29節

イエス様が十字架にかかること、よみがえること、天に昇ること、聖霊を送ってくださること…聖書を読んでいるわたしたちとちがって、イエス様の時代に生きたお弟子さんは、この先なにが起きるのか、イエス様は何者なのか、はっきりとわからないこともあっただろうね。

先のことを信じることはむずかしいね。でも、イエス様の言ったこと、聖書に書いてあるすべてのことは起きてきた！ 神様の言葉はかならず起きるんだね！ これから先のことも、あなたは信じますか？

いの

祈り 天のお父様、聖書に書いてあることはすべて起きると、信じます。

3月24日（金）



ヨハネ 14・30～31

この世を支配する者が来るからです。彼はわたしに対して何もすることができません。 30節

イエス様の十字架を「やっぱりなにもできない負け犬だ」と言う人がいます。罪がある人は心の目がくもっているのです。十字架の意味を理解できないのです。そして、そう思わせるのは悪魔の計算なのです。

でも、イエス様は悪魔に負けたから十字架にかかったわけではありませんね。神様のご計画を知れば知るほど、イエス様の歩みを見れば見るほど、ああ、やっぱりイエス様は神様のみに心に従いぬいて十字架にかかられたんだ、とわかるのです。悪魔はなんの力もない！ のです。

いの

祈り 天のお父様、あなたに従うとき、悪魔に勝利はないことを知ることができ、感謝します。

3月25日（土）



ヨハネ 14・31

立ちなさい。さあ、ここから行くのです。 31節

自分が傷ついたり失敗するのがこわい、と一歩も前にでられないこと、ないかな？

イエス様は、きびしく苦しい十字架が待つところへ「さあ！ 行こう！」と言って進まれたね。そこが傷つけられ、裏切られ、拒まれ、ばかにされることばかりの場所だったとしても。

神様が進みなさいと言われたところへ、まっすぐ進んで行ったイエス様から目をはなさないでいるなら、不安でも、こわくても、きっと、前に進んで行けるよね！ 神様が見ていて、守り、助けてくださるって知ってるから！

さあ、ここから立ち上がって行こう！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、あなたの与えてくださった道に向かって、いっぱい歩みます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 15・12～27

最大の愛

人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていない。

ヨハネ 15・13

目標

十字架に示されたキリストの愛を知り、その愛に生きる。

3月26日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 15・13

人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていない。 13節

イエス様がわたしたちのために命を捨てることは、人間が「好きな人のために死んでもいい」というのとはちがうこと、わかるかな？

罪のために永遠の滅びしか道がなかった、罪とは神様の前にそれほどに大きいのです。

イエス様は、人が永遠に滅びるのではなく、永遠に生きる者となるために、天国の道を開くために、十字架で命をすててくださいました。

罪のない、きよい、神のひとり子が、罪深い、けがれた、どうしようもないわたしのために死なれた。ここに神様からのとくべつで、もっとも大きい愛があるのです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の愛の大きさをおぼえて感謝します。

3月27日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 15・12

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。12節

教会や学校、おうちでも、好きな人となかよくしたり、優しくするならできるよね。でも、ケンカしたときや意見がちがったときはどうだろう？ そんなのムリ！ って思うよね。

イエス様のお弟子さんたちも、なかまだったけど、よく意見がちがったり、だれが一番かなんて言いあらそったりしたんだよ。

そんなお弟子さんも、あなたも、イエス様が命がけでくださった十字架の愛が必要だね。

それは、人を赦すこと、自分でなく人のためや、人の救いを思い祈ること、弱いお互いを受けいれあっていくことじゃないかな。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架の愛を思い、行う者としてください。

3月28日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 15・14

わたしが命じることを行うなら、あなたがたはわたしの友です。14節

自分にいやなことをする人に「気分悪いけどゆるしてやる！」「もうわたしにはかわらないで！」など、人をゆるすときのあなたの態度はどうでしょうか？

イエス様は、十字架につくとき、弟子たちがうらぎり、にげていくことを知っていました。それでも、「あなたはわたしの友」と言ったね。イエス様の愛はすごいね。

あなたがイエス様の愛を知って、その愛に包まれて生きるとき、人を赦せる愛を行うことができるようになるよ。そこにイエス様は、あなたの友としていっしょにおられるからね！

いの祈り

天のお父様、イエス様の愛に包まれて生きていけますように。

3月29日（水）



ヨハネ 15・15

わたしはもう、あなたがたをしもべ
とは呼びません。 15節

世の中にはいろんな友だち関係があるよね。
そんな中で、本当の友ってなんなんだろう？
としんけんに悩んでしまうこともあるよね。

イエス様はあなたにとって、救い主であり、
神の子だけど、わたしたちの世界に人となって
きてくださり、あなたを愛してくれたね。

弱い者、罪のある者、救いが必要な者のとこ
ろに来て、目線を合わせ、同じ立場になる、ど
ちらかが強くてどちらかが弱いではなく対等
な関係になる。いっしょに成長しよう！ と手
をとってくれる。それが友のすがただね。

あなたもだれかとそんな友になってね！

いの
祈り

天のお父様、イエス様が目線をあわせて
くださったように、わたしもだれかの友
となることができますように。

3月30日（木）



ヨハネ 15・15

父から聞いたことをすべて、あなた
がたには知らせたからです。 15節

親友といえる友だち、また大切にしたいと思
う友だちはいますか？

あなたになにが起きてもすてない友だち、な
んでもうちあけられる友だち、かくしごとがな
い友だちなら、まさにベストフレンドだね！

イエス様はあなたに対して「かくしごとはな
いよ」と言ってくださっているね。それはあな
たのベストフレンドでいたいという、イエス様
の心です。あなたはどうかたえますか？ イエ
ス様に心を開いていますか？

あなたもまた、イエス様のベストフレンドで
いてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、親友イエス様を、わたしも
大切に生きていきます。

3月31日（金）



ヨハネ 15・16～17

わたしがあなたがたを選び…あな
たがたが行って実を結び、その実が
残るようになるため 6節

「おいしい実とおいしくない実、どっちがい
い？」と聞くとおいしいのがいいに決まってい
るよね。農家さんも良い実の種だけを残してど
んどん実のおいしいものを作っているのです。

さて、この質問は「自分勝手な人と、愛のあ
る人どっちがいいですか」というのと同じです。

イエス様に、実を残すようにえらばれたあな
た、あなたが残すのは愛の実であってほしい、
とイエス様は言っておられますよ。

あなたの行くところどこでも、イエス様の
愛を行えますように！

いの
祈り

天のお父様、イエス様の愛を、小さなわ
たしも行っていきますように。

4月1日（土）



ヨハネ 15・16～17

わたしの名によって父に求めるも
のをすべて、父が与えてくださるよ
うになるためです。 16節

生きていくことがつらいと思っている人、な
んで自分だけ…と心のどこかで感じること、
あるかな？ そう感じている人は多いんだ。

そんな人には、天のお父さんがわたしたちを
愛して、永遠の命をあたえようとイエス様の
命までおしまずにあたえてくださったお方だ
ということ、神様の声に従う人には、正しい
生き方を教え、心に喜びをくださることを
知ってほしいなと思うんだ。

イエス様を信じた瞬間から、もう天国はわ
たしのもの！ と言えるなんて、すべて与えら
れているのと同じじゃない！

いの
祈り

天のお父様、わたしの必要はすべて与え
られていると信じます。